

申請先：財団法人全国地域情報化推進協会 事務局

「PF通信(PF通信機能)」製品 PF準拠確認チェックリスト

APPLIC 登録番号：  ★APPLICで記載

※ 赤字部分は、V2.5からV2.6の変更箇所を示す。

(1) 対象標準とバージョン

APPLIC-0002-2011  
・プラットフォーム通信標準仕様 V2.2 ・アーキテクチャ標準仕様 V2.2

(2) PF準拠確認対象製品やシステムの情報と連絡先

(a) 申請日(西暦年月日)：

(b) 申請区分(新規、修正、破棄)：

(c) 申請者  
 団体名：  ★識別キー項目1  
 団体のURL：  (識別キー項目4つで  
 APPLIC会員番号：  ユニークになるように  
 申請者が指定する)

(d) 製品情報  
 製品説明のURL：  ★識別キー項目2  
 代表製品名：   
 複数製品で構成する場合追記：  
 複数製品で構成する場合追記：  
 複数製品で構成する場合追記：  
 製品識別情報(バージョン等)：  ★識別キー項目3  
 リリース日(予定)(西暦年月日)：

対応OS：

(3) PF準拠確認チェック項目(準拠ルール)

製品を申請する対象に「○」(★識別キー項目4)⇒

確認欄への記入：◎：対応、○：制約のあるもの(制約がある場合は備考欄に記載する)

番号	準拠ルール (番号( CS-RXXXX)は、サービス基盤標準書に記載のある関連準拠ルールの番号)	必須/ 選択	サイト内/ 外/共 通	V1.0 対応	PF対応のSOAPミ ドルウェア製品申請		サイト内のPF通信 製品申請		サイト内・外対応の PF通信製品申請	
					製品・シ ステム 確認欄	APPLIC 確認欄	製品・シ ステム 確認欄	APPLIC 確認欄	製品・シ ステム 確認欄	APPLIC 確認欄
1	【ミドルウェアの要件】プラットフォーム通信機能(PF通信機能)									
1-1	HTTP通信(IPv4、HTTP1.1)を行えること (CS-R020001、CS-R020002)	必須	共通	V1.0	◎	○				
1-2	SOAP通信(SOAP1.1、document/literal、WS-Addressing R0ファイル1.0)を行えること (CS-R020003、CS-R020004)	必須	共通	V1.0	○	○				
1-3	サイト内における通信セキュリティを実現できること									
1-3-1	SSL3.0(TLS1.0)のサーバ認証が利用可能であること (CS-R050001)	選択	サイト内	V1.0	◎					
1-3-2	SSL3.0(TLS1.0)のクライアント認証が利用可能であること (CS-R050001)	選択	サイト内	V1.0						
1-3-3	HTTPベース認証が利用可能であること (CS-R050001)	選択	サイト内	V1.0	○					
1-3-4	SSL3.0(TLS1.0)による通信路暗号が利用可能であること (CS-R050002)	選択	サイト内	V1.0	○					
1-4	サイト間における通信セキュリティを実現できること	必須	サイト間							
1-4-1	SSL3.0(TLS1.0)のサーバ認証が利用可能であること (CS-R050001)	必須	サイト間							
1-4-2	SSL3.0(TLS1.0)のクライアント認証が利用可能であること (CS-R050001)	必須	サイト間							
1-4-3	SSL3.0(TLS1.0)による通信路暗号が利用可能であること (CS-R050002)	必須	サイト間							
1-5	添付ファイルのサポートができること (CS-R020006)	選択	共通							
1-5-1	SOAP Messages with Attachments を利用可能であること (CS-R020007)	条件付き 必須(※)	共通							
1-6	異常系処理に対応できること									
1-6-1	メッセージ送信側のSOAP処理系は、TCP/IP、HTTPレベルで検知した障害を、MEP実行系を持つ上位アプリケーションに通知できること (CS-R060005)	必須	共通		◎	○				
2	【サービス基盤の要件】プラットフォーム通信機能(PF通信機能)									
2-1	標準仕様書で定義するXMLインスタンスの形式に対応できること (CS-R032001)	必須	共通	V1.0						
2-2	標準仕様書で定義するサービスインタフェース定義に対応できること	必須	共通	V1.0						
2-2-1	PF準拠のWSDL定義に対応するサービスインタフェースを提供できること (CS-R032003)	必須	共通	V1.0						
2-2-2	PF準拠のWSDL定義に対応し公開されるサービスを利用できること (CS-R032003)	必須	共通	V1.0						
2-3	標準仕様書で定義する電子封筒形式のメッセージを交換できること (CS-R020005)	必須	共通							
2-4	標準仕様書で定義する添付ファイルの形式に対応できること (CS-R020006)	選択	共通							
2-4-1	メッセージ本体格納型および添付型で添付ファイルを交換できること (CS-R020007)	条件付き 必須(※)	共通							
2-5	標準仕様書で定義するデータ交換システムパターンに対応できること (CS-R020008、CS-R020010)	選択	共通							
2-5-1	データ交換システムパターンをサポートする場合 (CS-R020008)、[Type1]、[Type2]、[Type3]、[Type4]、[Type5]のどれかをサポートしなければならない。(CS-R020009)	条件付き 必須(※)	サイト内							
2-5-2	データ交換システムパターンをサポートする場合 (CS-R020010)、[Type1]、[Type2]、[Type4]の全てを使用できること。(CS-R020011)	条件付き 必須(※)	サイト間							
2-6	標準仕様書で定義するメッセージ交換パターンと異常系処理に対応できること	必須	共通							
2-6-1	メッセージ交換パターンとして、「リクエスト型受領Ackあり」「リクエスト-レスポンス型同期型レスポンス」「リクエスト-レスポンス型受領Ack+非同同期型レスポンス」の3つのパターンを利用できること (CS-R060001～CS-R060004)	必須	共通							
2-6-2	メッセージ交換パターン処理系にて、障害を検知した場合、標準仕様書で定義する異常系処理を行えること (CS-R060006、CS-R060007、CS-R060009)	必須	共通							

※「条件付き必須」とは、すぐ上の準拠ルール(選択)を対応とする場合、当該ルールへの対応が必須となることを示す

備考欄(前提事項や制限事項)

- ・1-2 WS-1 BP 1.0 の項目 4.3.7はSOAPメッセージに対するリダイレクトする機能が製品自体に対応していないため、仕様制限としている。
- ・1-3-3 アダプタ(クライアント)のみ対応している。
- ・1-3-4 End-to-End での秘密性確保については、XML Encryption に製品自体が対応していないため、仕様制限とする。